

資料4-2

COD				①水域の利用状況								COD 75%値(mg/L)						類型見直しの必要性			④絞り込み結果	湖沼名	
No.	湖沼名	類型	達成期間	類型指定当時				現状(R5)				類型指定時の水質	類型指定時の水質より想定される類型	現状(R5)	直近10年の平均値	最小～最大(H26～R5)	(環境基準達成状況)	現状水質での類型	③利用状況の変更	水質			
				自然環境保全	水道用水	水産	農業・工業用水	自然環境保全	水道用水	水産	農業・工業用水									水質の状況			②上位類型の達成
1	栗駒ダム	AA	イ	○	2級			※	2級		農業	1.9 (S47平均)	A	1.9	1.7	1.2~2.1	0/10	A	有(利用状況では水道用水によりAに該当)	有(類型指定時・現状の水質ともAに該当)		○	栗駒ダム
2	花山ダム	AA	イ	○	2級			※	2級	2級		2.1 (S47平均)	A	2.9	2.6	2.2~3.1	0/10	A	有(利用状況では水道用水によりAに該当)	有(類型指定時・現状の水質ともAに該当)		○	花山ダム
3	鳴子ダム	AA	イ	○	2級			※		2級	農業	2.1 (S47平均)	A	1.9	2.0	1.6~2.6	0/10	A	有(利用状況では水産利用によりAに該当)	有(類型指定時・現状の水質ともAに該当)		○	鳴子ダム
4	伊豆沼	B	イ			3級	農業			2級	農業	6.3 (S48平均)	C	23	14.6	9.1~23	0/10	C	有(利用状況では水産利用によりAに該当)	有(類型指定時・現状の水質ともCに該当)	×	○	伊豆沼
5	長沼ダム	B	イ			3級	農業			2級	農業	6.6 (S48平均)	C	13	9.4	7.1~13	0/10	C	有(利用状況では水産利用によりAに該当) ※天然湖沼→人工湖沼に変更	有(類型指定時・現状の水質ともCに該当)	×	○	長沼ダム
6	漆沢ダム	AA	イ	○	2級			※	2級	2級	工業	2.5 (S55)	A	3.2	3.4	2.5~4.3	0/10	B	有(利用状況では水道、水産利用によりAに該当) ※R18に洪水調節専用ダムに変更予定	有(類型指定時の水質はA、現状はBに該当)		○	漆沢ダム
7	南川ダム	A	ハ		2級	2級	農業		2級	2級		3.4 (H4~6)	B	3.6	3.5	2.9~3.8	0/10	B	無(利用状況変更あるが該当類型の変更なし)	有(類型指定時・現状の水質ともBに該当)	×		
8	釜房ダム	AA	イ	○	2級			※	2級	2級	農業、工業	1.1 (S47平均)	A	3.2	2.7	2.3~3.2	0/10	B	有(利用状況では水産利用によりAに該当)	有(類型指定時の水質はA、現状はBに該当)		○	釜房ダム
9	大倉ダム	AA	□		1級	1級	農業、工業1級		2級	2級	農業、工業1級	1.5 (S48平均)	A	2.4	2.4	2.0~3.0	0/10	A	有(利用状況では水道、水産利用によりAに該当)	有(類型指定時・現状の水質ともAに該当)		○	大倉ダム
10	樽水ダム	A	イ		2級				2級			3.3 (S52)	B	4.0	3.8	3.4~4.4	0/10	B	無	有(類型指定時・現状の水質ともBに該当)	×		
11	七北田ダム	A	イ		2級				2級			2.8 (H5)	A	4.7	3.9	3.2~4.8	1/10	B	無	無(類型指定時の水質はA、現状はBに該当)	×		
12	七ヶ宿ダム	A	イ	○	2級	1級	農業	※	2級	2級	農業	1.9 (H10)	A	2.5	2.3	2.0~2.5	10/10	A	無(利用状況変更あるが該当類型の変更なし)	無(類型指定時・現状の水質ともAに該当)	×		

【達成期間】
 イ:直ちに達成、□:5年以内で可及的速やかに達成、ハ:5年を超える期間で可及的速やかに達成
 【水域の利用状況(現状)】
 ・水産については、現在漁業権が設定されている魚種のうち、最上位の水産区分を記載。
 ・オレンジ色は、変更があった目的
 ・灰色は指定時の資料による確認ができておらず調査中
 ※ 「人工湖沼における利用目的の適応性に関する課題について」(平成15年中央環境審議会水環境部会陸域環境基準専門委員会)の見解を踏まえた場合、該当しないこととなる。

【水産利用について】
 水産利用については、第5回陸域環境基準専門委員会(H15.2.21)において「水質保全の目標であり、現状を踏まえた目標として、漁業権魚種による機械的な判定はあつたため、漁業権も踏まえつつ、指定権者が地域の意見を十分聴取して指定すべきもの。一律の判定基準にはなじまない。」とされている。

T-P				②水域の利用状況								T-P 年平均值(mg/L)					類型見直しの必要性		⑤類型指定要件		湖沼名			
				類型指定当時				現状(R5)				類型指定時の水質	類型指定時の水質より想定される類型	現状(R5)	直近10年の平均値	最小~最大(H26~R5)	環境基準達成状況(H26~R5)	直近10年の水質での類型	④利用状況の変更	③上位類型の達成		特定施設の有無	燐含有量についての排水基準適用	⑥絞り込み結果
No.	湖沼名	①類型	達成期間	自然環境保全	水道用水	水産	農業・工業用水	自然環境保全	水道用水	水産	農業・工業用水										類型指定時の水質			
1	栗駒ダム								2級		農業			0.008	0.011	0.005~0.03		Ⅲ			有	有	○	栗駒ダム
2	花山ダム								2級	1種				0.013	0.014	0.01~0.019		Ⅲ			無	有		
3	鳴子ダム									1種	農業			0.019	0.018	0.015~0.019		Ⅲ			有	有	○	鳴子ダム
4	伊豆沼									2種	農業			0.110	0.099	0.072~0.13		V			有	有	○	伊豆沼
5	長沼ダム									2種	農業			0.043	0.046	0.030~0.120		V			有	有	○	長沼ダム
6	漆沢ダム								2級	1種	工業			0.017	0.026	0.017~0.035		Ⅲ			無	有		
7	南川ダム	Ⅱ	ハ		2級	1種	農業		2級	1種		0.013(H4~6)	Ⅲ	0.014	0.017	0.013~0.025	0/10	Ⅲ	無(利用状況変更があるが該当類型の変更なし)	×				
8	釜房ダム	Ⅱ	ニ	○	2級	1種	農業	※	2級	1種	農業、工業	0.018(S57~59)	Ⅲ	0.020	0.017	0.014~0.022	0/10	Ⅲ	無(利用状況変更があるが該当類型の変更なし)	×				
9	大倉ダム	Ⅱ	ニ		1級	1種	農業、工業1級		2級	1種	農業、工業	0.014(S57~59)	Ⅲ	0.008	0.009	0.007~0.01	10/10	Ⅱ	無(利用状況変更があるが該当類型の変更なし)	×				
10	樽水ダム								2級					0.012	0.014	0.010~0.020		Ⅲ			無	有		
11	七北田ダム	Ⅱ	ハ		2級				2級			0.015(H5)	Ⅲ	0.019	0.021	0.016~0.030	0/10	Ⅲ	無	×				
12	七ヶ宿ダム	Ⅱ	イ	○	2級	1種	農業	※	2級	1種	農業	0.01(H10)	Ⅱ	0.009	0.008	0.007~0.009	10/10	Ⅱ	無(利用状況変更があるが該当類型の変更なし)	×				

【達成期間】

イ:直ちに達成、ロ:5年以内で可及的速やかに達成、ハ:5年を超える期間で可及的速やかに達成

【水域の利用状況(現状)】

・水産については、現在漁業権が設定されている魚種のうち、最上位の水産区分を記載。

・オレンジ色は、変更があった目的

・灰色は指定時の資料による確認ができておらず調査中

※ 「人工湖沼における利用目的の適応性に関する課題について」(平成15年中央環境審議会水環境部会陸域環境基準専門委員会)の見解を踏まえた場合、該当しないこととなる。

T-N				水域の利用状況								T-N 年平均値(mg/L)				②類型指定要件		③絞り込み結果	湖沼名	
No.	湖沼名	類型	達成期間	参考:T-P類型指定当時				現状(R5)				現状(R5)	直近10年の平均値	最小~最大(H26~R5)	直近10年の水質での類型	①磷指定対象湖沼	T-P 0.02mg/L以上 直近10年の平均			N/P比20以下 直近10年回数
				自然環境保全	水道用水	水産	農業・工業用水	自然環境保全	水道用水	水産	農業・工業用水									
1	栗駒ダム							2級		農業	0.11	0.12	0.07~0.17	II	○	×	10/10			
2	花山ダム							2級	1種		0.15	0.16	0.12~0.23	II						
3	鳴子ダム								1種	農業	0.26	0.22	0.19~0.26	III	○	×	10/10			
4	伊豆沼								2種	農業	1.50	1.15	0.81~1.5	V	○	○	10/10	○	伊豆沼	
5	長沼ダム								2種	農業	0.70	0.59	0.41~0.88	IV	○	○	10/10	○	長沼ダム	
6	漆沢ダム							2級	1種	工業	0.15	0.24	0.14~0.39	III						
7	南川ダム				2級	1種	農業	2級	1種		0.31	0.32	0.25~0.45	III	○	×	6/10			
8	釜房ダム			○	2級	1種	農業	※	2級	1種	農業、工業	0.50	0.44	0.36~0.57	IV	○	×	0/10		
9	大倉ダム				1級	1種	農業、工業1級		2級	1種	農業、工業	0.14	0.14	0.12~0.17	II	○	×	10/10		
10	樽水ダム							2級			0.54	0.40	0.27~0.54	III						
11	七北田ダム				2級				2級		0.38	0.30	0.18~0.42	III	○	○	10/10	○	七北田ダム	
12	七ヶ宿ダム			○	2級	1種	農業	※	2級	1種	農業	0.42	0.31	0.25~0.42	III	○	×	0/10		

【達成期間】

イ:直ちに達成、ロ:5年以内で可及的速やかに達成、ハ:5年を超える期間で可及的速やかに達成

【水域の利用状況(現状)】

・水産については、現在漁業権が設定されている魚種のうち、最上位の水産区分を記載。

・オレンジ色は、変更があった目的

・灰色は指定時の資料による確認ができておらず調査中

※ 「人工湖沼における利用目的の適応性に関する課題について」(平成15年中央環境審議会水環境部会陸域環境基準専門委員会)の見解を踏まえた場合、該当しないこととなる。